

## 体験型海外教育実地研究 ―第7学年音楽「日本民謡を体験しよう」―

生涯活動教育学専攻音楽文化教育学専修 村島唱子

### 1 はじめに

今回の GPSC に参加するにあたり、アメリカの小学校や中学校を訪問し、現地視察や授業をすることにとっても魅力を感じた。研修する内容として事前に考えたのは次の2点である。第1に、アメリカの小学校や中学校の設備や施設などの校内環境を視察すること、第2に、自らの授業で、日本民謡を通して中学校の生徒たちと交流することである。

日本には郷土音楽として、人々の生活と密着し生活感情に合った民謡が生まれ伝承されてきた。日本民謡は、独特な音階をもち伴奏楽器も存在する。今回、三線を持参し沖縄民謡を紹介するとともに、生徒たちに民謡を歌唱体験してもらおうこととした。また、日本民謡と同じようにアメリカにはフォークソングが存在する。そこで、生徒たちはどんなフォークソングに興味があるのか授業で調べることにした。

### 2 実地研究の日程と概要

		交通等	訪問地・用務等	泊
4/11	火	履修等, 説明会 L304		
6/1	木	1330-1500 L304	第1回 事前研究	
6/29	木	1330-1500 L304	第2回 事前研究	
7/25	火	1800-1930 L304	指導案(英文)検討 7/28 講演会・7/29 学校間国際フォーラム 打ち合せ	
7/28	金	1330-1420 C527	講演会 米国小学校教育事情(TAG とグローバル教育)	
7/29	土	1300-1630	広島県立生涯学習センター GPSC 学校間国際交流フォーラム	
8/3	木	1330-1600 L304	第3回 事前研究 個別研究テーマ(授業実践研究)の交流と協議	
8/29	火	1330-1600 L304	第4回 事前研究 旅程確認・諸準備ほか	
9/3	日	広島-成田 0745-0925 NH-3128 成田-ワシントン 1110-1045 NH-2 ワシントン 1344-1448 ローリー UA-7183		米国ノースカロライナ州 Greenville City Hotel & Bistro 203 W. Greenville Blvd, Greenville, NC 27834 TEL(877)271-2616 Toll Free(877)271-2616
9/4	月		East Carolina University 事前打ち合せと準備	Greenville 同上
9/5	火		Wahl-Coates Elementary School (第1-5学年) 学校見学と授業観察 Watson 先生のクラス (第4	Greenville 同上

			学年) で民謡を演奏披露 East Carolina University 教材センター見学 山口先生の日本語の授業参加、民謡を演奏披露	
9/6	水		Whitfield Meddle School (K-8 学年) Pam 先生の案内で学校見学 第 8 学年の授業観察 Cutler 先生のクラス (第 7 学年) 授業実践 East Carolina University Social studies 授業参加 民謡を演奏披露	Greenville 同上
9/7	木		Exploris Meddle School (第 5-8 学年) 学校見学と授業観察 Exploris 博物館 見学	米国ノースカロライナ州 Raleigh Raleigh Marriott Crabtree Valley 4500 Marriott Dr., Raleigh, NC 27612 TEL (919)781-7000 FAX (919)781-3059
9/8	金	ローリー 1245-1350 ワシントン UA-7374	移動	Washington DC Beacon 1615 Rhode Island Ave, NW, Washington, DC 20036 TEL (202)296-2100 FAX (202)331-0227
9/9	土		文化体験 National Air and Space Museum 見学 Kennedy Center 観劇	
9/10 9/11	日 月	ワシントン 1220-1520 成田 NH-1 成田 1725-1900 広島 NH-3129		機中泊
9/29	金	事後指導 発表会		

### 3 実地研究授業

#### 3.1 単元等名

第7学年 音楽「日本民謡（沖縄民謡）を体験しよう」

#### 3.2 事前準備

日本民謡を体験することで、日本を知ってもらおうと同時に、日米の音楽の違いを感じ取らせることを目的とし、この題材を設定した。アメリカの民謡であるフォークソングの中で生徒たちの好きな曲についてアンケートを取ることにした。

本題材である、沖縄民謡「ていんさぐぬ花」の歌詞と大意を示したワークシートと「楽譜作成ソフト Finale2003」でローマ字歌詞を付した楽譜を作成し、感想や各自の好きなフォークソングを記すためのワークシートを準備した。具体的イメージを湧かせるために“*Minyo*”、“*Sanshin*”の綴りを示したマグネットプレート（カード）と「ていんさぐぬ花」であるハウセンカのA4版の写真を用意し、板書計画を立てた。

沖縄民謡の中でも、教訓的な歌詞をもちメロディアスな「ていんさぐぬ花」を選び、歌詞に込められた親子の絆など、人々の思想を強調することにした。さらに、沖縄民謡の特有な音階を三線で示し独特の響きを理解させ、伴奏楽器である三線に関する説明や、民謡が世代から世代へと歌い継がれ、歌い手によっても歌詞が違っており、何番にも渡り増えていったこと等について教えることで、より日本民謡に興味をもたせたいと考えた。

#### 3.3 学習指導案

##### (1) Title

Let's enjoy Japanese folk song—“*minyo*”

##### (2) Target grade

Seventh grade

##### (3) Subject

Music

##### (4) Purpose of the present lesson

Interested in Japanese folk song and perform it

##### (5) Preparation article/equipment

- “*sanshin*”—Japanese instrument like samisen
- pictures of balsam flower
- text and score
- tuner and music stand

##### (6) Teaching process

Teacher's activities	Students' activities
Greet to students.	Greet to teacher.
Pin pictures and explain about “ <i>minyo</i> .”	Listen the explanation.
Show the “ <i>sanshin</i> ” and explain.	Listen the explanation.

Sing with the “ <i>sanshin</i> .” Ask students some questions about the performance.	Appreciate the performance. Express their impressions of listening to the music.
Distribute the text written the words and give some comments about meaning of words.	Listen the explanation.
Sing to take a lead by repetition.	Follow teacher’s model and repeat singing to memorize the melody and words.
Perform the music with all students.	Sing with teacher.
Ask students’ recommendation of American folk songs.	Demonstrate their recommendation of American folk songs. (write in blank paper)
Greet the students.	Greet the teacher.

【ワークシート 1】 (A3 用紙)



“*Tinsagu nu Hana*” Words & Translation

1 Ti-n-sa-gu nu Ha-na ya Chi-mi-sa-chi ni su-mi-ti  
U-ya nu Yu-si-gu-tu ya Chi-mu ni su-mi-ri

Color your fingernails with the balsam flower, color your soul with the teaching of your parents.

2 Even if we could count all the stars in the sky,  
we could never count all the things our parents teach us.  
3 As ship which sails the night sea depends on the polestar,  
so my parents depends on me.



*Tinsagu nu Hana*

Japanese folk song-*minyo*

ti n sa gu nu ha na ya chi mi sa chi ni su mi ti  
u ya nu yu shi gu tu ya chi mu ni su mi ri

【ワークシート 2】 (B4 用紙)

♪ please tell me about  
your favorite American folk songs ♪



Please write what you felt about today’s class.

Thank you so much!



### 3.4 授業の実際

生徒たちは、歌詞朗読や歌唱など積極的に声を発し活動した。日本のことや日本語の音楽に興味津々で、三線を紹介すると大きい反応を示した。三線は見たことも聞いたこともない楽器で最初は戸惑いもあったようだが、チューナーを使用し調弦をしてみせるとギターの調弦のようであり撥もピックと似て、すぐにその音色や三線の伴奏によって繰り広げられる沖縄民謡に惹き付けられ親しんでくれたように思う。



写真1 アメリカでの授業の様子

授業前、配布する楽譜を読むことができるのか心配だったが、生徒たちは皆ずらずらと読譜し、一般音楽の教育も盛んで教育水準の高さに驚いた。

「ていんさぐぬ花」の調（本調子）では生徒たちにとってハイピッチであったため、途中で三線の調弦を短3度下げることにした。しかし、それでも高いという感想が記述されていた。

### 3.5 考察

全体的に、生徒たちは真剣に説明を聞き、大きな声で歌唱していた。ミドルスクールの段階においても学習規律が確立されていた。

題材設定の目的は、日本民謡の体験を通して、日本を知ってもらうと同時に日米の音楽の違いを感じ取らせることであった。生徒たちは日米の音楽が違うということは理解したが、日本民謡の歌詞がもつ教訓的意味合いや味わいまで深く理解させるには30分の授業時間内では不十分であった。民謡とはどういう音楽なのか日常生活の中で考えさせる時間を設け、その意味や日米の民謡の違いを認識させると良かった。

アメリカの民謡であるフォークソングの中で、生徒たちの好きな曲にはどのようなものがあるのかアンケートを取ったが、『John Henry—Steel driving man<sup>1</sup>』（16名）、『Paul Bunyan』（5名）、無回答（4名）であった。アンケート結果から、日米では民謡・フォークソングの捉え方が異なることに注目したい。アメリカの子どもたちにとって、フォークソングは歌詞内容に物語・神話を含み、小さい頃に聞いた音楽であるということ、さらに曲と一緒に歌い、合わせて踊りもする音楽であるということである。また、日本と共通する部分では、親から子へと歌い継がれるもの、人々の生活を映す鏡のようなものであることが分かった。

生徒たちは感想も十分に記述していた。中から感想例を3例紹介する。

- It was interesting and different. I enjoyed learning the song and Japanese language. It was fun. This class made me to visit Japan one day.
- Today's class was great. It gave us all a chance to learn more about the Japanese culture. Thanks for coming.
- I thought that class was fun. It was cool to sing a song in a different language. The song was beautiful. Please remember us.



写真2 第7学年の生徒たちと授業者～授業後

上記のように、日本語や日本の音楽について触れることができたことはアメリカの生徒たちにとって有意義であったようだ。ゆったりとした美しいメロディと三線の独特な響きに興味・関心をもった。沖縄民謡の中でも「ていんさぐぬ花」を題材に用意したことは良かった。

## 4 体験型教育実地研究における自己変容

### 4.1 教育観の変容

教師のしつけが厳しく、子どもたちは行儀がよい。教室移動は一列に並び黙って行動しなければならない。走るとどの教師からも注意を受ける。渡米前、私はアメリカの子どもたちに対して、とてもおおらかで表現力豊か、大きな反応をすると考えていたので、大変驚き認識を新たにした。

スクールバスでの送迎や親の送り迎えが徹底されており、子どもの安全対策が取られている。施設内は星条旗・校旗・州地図が常時掲揚しており、始業時、校長の校内放送によりアメリカ憲章が朗読されるなど、愛国心や自分の州に対する認知教育が徹底されている。授業内容、授業時間は柔軟で教師の裁量に任せられ、教室には、アメリカらしい原色の色彩で教師の独自性に富んだ装飾的掲示物が多く、教室の雰囲気や子どもたちの様子にも担任のカラーとも言える印象が強い。学校施設はすべて1階のみで、敷地面積が日本に比べて広い。学校によって異なるが、私の訪れた Whitfield 校のような K-8 学年まである生徒数の大きい学校では細かな時間割が設定され、ランチタイムの工夫がされている。カフェにはすべての子どもたちを一度に収容できないため、時間をずらしてランチを摂る時間設定をしている。

### 4.2 自分自身についての変容

最初、「人種のるつぼ」という事実に驚いた。肌や目、髪の色は様々でしかし皆アメリカ人である、ということに改めて驚いたのである。違って当然、だからこそ主張し合いながら互いを認め合い、尊重し合っていると感じた。

日本人である私は暗黙の了解であるとかアイコンタクトで済ませるなどで状況判断しがちであるが、表面的な行動だけを見て人物を判断すべきではなく、積極的に意思表示しコミュニケーションをとることが重要である。

### 4.3 グローバルマインドに関する変容

日本のことをもっと知りたい、日本を訪れてみたいという感想を書いた生徒もいた。国が違い言葉は異なっても、交流しようという気持ちを持ち行動することがとても大切であると強く感じた。自分の意見をしっかりと言葉で主張することの重要性を実感した。アメリカの人たちはアイデンティティが高く、道徳的な心の教育も盛んに行われ、Language Arts の授業など言葉の表現技術を高めている。アメリカ人に比べ、日本人は反応が悪い。しかし相手を思いやる気持ちは万国共通であり、人の親切に触れ、人との関係を大切にしながら交流を深めていきたいと強く思った。多民族であるアメリカ人がみな一緒だという装飾や教育を目の当たりにし、アメリカ人の愛国心の認識の強さを知り、日本人であるということがどういうことか、もう一度考える必要があると感じた。

## 5 おわりに

今回の GPSC に参加し、アメリカの小学校や中学校の設備や施設が充実している現状を直接自分で確認できた。また、日本民謡を通してたくさんの人たちと交流し、貴重な時間を過ごすことができた。

アメリカの教師が教材作成に使用する機材や教具を実際に使用したが、使いやすく内容も充実したものであった。さらに、校内のコンピュータや児童生徒用の備品も十分な数が揃っており、各教室は広く設備や管理が行き届いていた。



写真 3 イーストカロライナ大学にて民謡披露

沖縄民謡は、授業で扱った「ていんさぐぬ花」の他「童神<sup>2</sup>」を用意していった。どちらもゆったりとした美しいメロディと三線の独特な響きが好評で、視察研修中において、沖縄民謡披露の機会に度々恵まれ、三線独奏はアメリカと日本の文化交流に有効な手段となっていた。

イーストカロライナ大学で Social studies 授業に参加した際に「童神」を演奏披露し、曲解説を行った。

学生は親子の絆を詠った歌詞や民謡の旋律の響きに感動し、民謡や三線にとっても興味・関心を示したことが特に印象に残った。音楽表現は共感性、共有性を持ち、その素晴らしさを改めて実感した。同時に、アメリカで日米文化交流に一役を担った達成感を味わった。今後、出会いを大切にしながら今回の充実した経験を生かしていきたい。

最後に、訪問を歓迎し日本について事前指導を行ってくださった第7学年の教師 Mrs. Cutler と、ご多忙の中 Whitfield 校の施設や設備を案内し説明してくださった TAG 教師の Mrs. Pam にこの場を借りて感謝したい。また、今回の研修を計画実施してくださった GPSC の先生方にも心から感謝する。

### 註

- 1: アフリカ系アメリカ人の鉄道工夫ジョンヘンリーの物語を題材にした作業歌 (ハンマー・ソング)。黒人労働者の歌として生まれたハンマー・ソングは、アメリカの社会変化の中で変容し、人種を越えて人々の共感を得るものとなった。
- 2: 佐原一哉作曲、古謝美佐子作詞

### 参考・引用文献

- ・ ウェルズ恵子『フォークソングのアメリカ』南雲堂、2003
- ・ <http://www.arc.ritsumei.ac.jp/folksong/>  
(立命館大学アート・リサーチセンター／アメリカンフォークソング資料保存プロジェクト)